Creative Enzymes®

cGMP依存性プロテインキナーゼ

Cat. No. EXWM-3131

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	CGMPはこの酵素を活性化するために必要です。この酵素は高等真核生物では二量体として存在します。各ポリペプチド鎖のC末端領域には、ATPおよびタンパク質基質結合部位を含む触媒ドメインがあります。このドメインは、ATPによる特定のセリンまたはスレオニン残基のタンパク質基質へのリン酸化を触媒します。この酵素には、2つのアロステリックcGMP結合部位（部位AおよびB）もあります。cGMPの結合は、キナーゼの活性化に関連する構造□化を引き起こします。
別名	3':5'-シクロGMP依存性プロテインキナーゼ; cGMP依存性プロテインキナーゼ Iβ; グアノシン3':5'-シクロ一リン酸依存性プロテインキナーゼ; PKG; PKG 1α; PKG 1β; PKG II; STK23

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.7.11.12
CAS登□番号	141588-27-4
反□	ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間の保存には+4 ℃で保管してください。長期間の保存には-20 ℃~-80 ℃で保管してください。